

京都大学人文科学研究所共同研究最終報告書

1. 研究課題

暴力・宗教・性の語りをめぐって

Narratives on Violence, Religion and Sexuality

2. 研究代表者氏名

菊地暁

KIKUCHI Akira

3. 研究期間

2018年04月 - 2020年03月 (2年度目)

4. 研究目的

本研究班の目的は、語りに注目しながら現代世界における暴力、宗教、性(ジェンダー/セクシュアリティ)を個別にではなく、包括的に考察することにある。ここでいう暴力は、国家間の軍事活動から、集団による他集団への暴力、そして個人間の対立、性暴力まで様々なものを含む。具体的には、主として文化人類学者を中心に、語りについての一次資料に基づいて考察を行う。また、ミクロな事例だけを分析するのではなく、国家や国際組織の活動を念頭に置いて、暴力の発動や抑圧、宗教や性の統御の問題を取り上げる。さらに、暴力や宗教、性が引き起こす問題との関係で、医療、司法、アートなどの領域をも研究対象とする。

5. 研究成果の概要

本研究班は、現代世界における暴力、宗教、性(ジェンダー/セクシュアリティ)を、「語り」に注目しながら包括的に考察することを目指してきた。国家間の軍事活動から、集団による他集団への暴力、そして個人間の対立、性暴力まで、「暴力は」様々なものを含む。具体的には、語りについての一次資料に基づいたミクロな事例分析をベースにしつつ、国家や国際組織の活動を念頭に置き、暴力の発動や抑圧、宗教や性の統御の問題を考察してきた。2年間の研究期間で各班員の報告を終え、論文集を準備中である。

6. 共同研究会に関連した公表実績

該当なし

7. 研究成果公表計画および今後の展開等

各班員の報告に基づいた論文集を準備中である。

